



ウェルビーイング in アジア実現のための女性リーダー育成プログラム

H27 年度 UNFPA アジア太平洋地域統括事務所 インターン募集について

この度、「ウェルビーイング in アジア実現のための女性リーダー育成プログラム」の一環として、国連人口計画（UNFPA）アジア太平洋地域統括事務所とのインターンシップ協定に基づき、以下の通りインターンを派遣することになりました。アジアのウェルビーイングの現状に触れ、実践的な能力を身につける貴重な機会ですので、ふるってご応募ください。

1. 業務内容

- ✓ 期間：3～6 か月（2016 年 3 月末までに派遣開始）
- ✓ 場所：UNFPA アジア太平洋地域統括事務所（バンコク）とアジア太平洋地域に所在する UNFPA の各国事務所
- ✓ 内容：プロジェクト運営および事務所運営にかかる業務の補助

2. 派遣前～帰国後の責務

- ✓ 派遣前：実習計画書を作成し、名古屋大学および配属先の事務所に提出する。
- ✓ 帰国後：実習報告書を提出し、報告会で発表する。
- * 今回の派遣はインターンシッププログラムの本格実施に向けた試行であり、実習生は当プログラムでの経験をフィードバックし、以降の実習生に引き継ぐことが期待される。

3. 待遇

- ✓ 無給
- ✓ 勤務時間や休日等は、配属先の規定に従う。
- ✓ 渡航費および滞在費の一部をウェルビーイングプログラムから支給可（その場合は、インターンシップ期間中は休学扱いとせず、名古屋大学へ授業料を納入することとなる）。

4. 応募資格（以下の要件をすべて満たすもの）

- ✓ 語学力：英語で業務を遂行する能力を持つもの（英語での高い読み書き能力が求められます）。
- ✓ 所属：派遣中の全期間を通して、名古屋大学大学院国際開発研究科、医学系研究科、生命農学研究科、教育発達科学研究科のいずれかに博士課程前期または後期の学生として所属するもの。ただし専門分野は問わない。
- ✓ 自身の専門性をいかし、配属されたプロジェクト及び配属先の業務に貢献する意欲を持つもの。
- ✓ 応募者多数の場合は、ウェルビーイングプログラムの正規履修生を優先する。
- ✓ 女子学生を優先するが、ウェルビーイングプログラムの趣旨を理解し、男女共同参画の意識を持つ男性の応募も歓迎する。
- ✓ 国費留学生、その他奨学金を受給している学生の応募については、各自の奨学金制度の定める規定に従うこと。

5. 応募方法

- ✓ 以下の4つの書類ををセットにして、**6月5日(金)**までに各部局担当者(次項「6. 問い合わせ先」を参照)にメールで提出すること。

① 申請書 (Application Form、英語で記入/所定の様式あり*)

*①は、所定の様式をウェルビーイングプログラムHPからダウンロードして使用すること。

(<http://www.well-being.leading.nagoya-u.ac.jp/>)

② カバーレター (英語で作成・書式自由)

③ 語学証明書 (写しも可)

④ 健康診断書 (6か月以内に受診したもの**)

**大学が毎年4月に実施する健康診断を受けたものは自動発行機で入手した診断書でも可。

6. 問い合わせ先

<応募に関する相談および応募書類提出先>

教育発達科学研究科：金井教授 (q47372a@cc.nagoya-u.ac.jp)

医学系研究科：香川特任准教授 (coemed@med.nagoya-u.ac.jp)

医学系研究科保健学：小寺教授 (kodera@met.nagoya-u.ac.jp)

生命農学研究科：中川准教授 (miko@agr.nagoya-u.ac.jp)

国際開発研究科：萩巣特任助教 (ogisu@gsid.nagoya-u.ac.jp)

<ウェルビーイングのインターンシップに関する一般的な問い合わせ>

萩巣特任助教 (ogisu@gsid.nagoya-u.ac.jp)